

こんばんは。校長の佐久間です。充実した冬休みを過ごせましたか。3学期の始業式も、残念ながら、新型コロナウイルス感染症予防のため、放送での実施となります。本日、私からは2点述べたいと思います。

まず、第1点目。3学期は、短い学期ですが、皆さんの進級・卒業が決まる大変重要な学期でもあります。特に、1・2学期に欠点をとってしまった者は、成績を挽回して、進級・卒業できるよう地道に取り組みましょう。そのためには、健康を維持して、毎日登校し続けることも大切です。昼間の時間が短くなり、大変寒い日もあります。これから雪が降る日もあるかもしれませんが、皆さんが、粘り強く頑張ることを期待します。

2点目です。公益財団法人日本漢字能力検定協会が公募をもとに決定した今年の漢字は「密」という字でした。皆さんの中には、テレビのニュース番組等で、京都の清水寺のお坊さんが、大きな紙に大きな筆で「密」の字を書いている様子を観た者もいると思います。漢字検定協会が説明した「密」の字が選ばれた理由を要約すると、次の通りになります。

世界中が新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けた一年であった。「3「密」」という言葉が提唱され、生活・行動様式が「密」にならないよう国民が意識し続けた。また、政治判断が「密」室で行われたことや芸能界での「密」会報道などでも使われた。

生徒の皆さんにとっても、昨年は「密閉・密集・密接」の「3密」を避ける生活を強いられた1年だったと思います。また、協会の説明によると、この字が選ばれた理由として、「オンラインにより、遠くにいる親戚や友人など大切な人との関係が、かえって『密』接になった」とか、「人とのつながりの大切さを再認識する機会になった」、「来年こそは対面で『密』に人と関わり合えるようにとの願いも込められた」というプラス思考の理由もあげられています。皆さんにも、人と人との絆の大切さを再認識したり、家族と触れ合う時間が増えたりする等、プラスの面もあったかもしれません。

しかし、11月から新型コロナウイルスの感染者数の増加が続き、昨日は1日の新規感染者が全国で7571人となり、遂に2度目となる「緊急事態宣言」が国から出されました。今回は、前回と異なり学校が臨時休業となることは現時点ではありませんが、今後の状況によっては、定時制の皆さんの学校生活に影響が生じないとは限りません。今回「緊急事態宣言」が出された背景には、埼玉県を含む1都3県(東京・神奈川・千葉・埼玉)を中心に感染者が急増し、入院患者用のベッドや医師・看護師等の医療従事者が不足している等、医療機関に大きな支障が生じていることがあります。このまま感染者が増え続けると、治療が受けられない患者が出かねません。また、コロナの感染者が増えることで、他の疾患の患者の治療が不十分になるという弊害もあります。また、最初にイギリスで確認された感染力が高い変異したウイルスも、既に日本に持ち込まれていることが確認されています。ですから、皆さんには、継続して感染防止への対応をぜひお願いします。新型コロナウイルスに感染しても、発熱や咳等の自覚症状がない場合もあることも、意識してください。つまり、現在、特に体調が悪くない私や皆さんも、既に感染している場合があり得るということで、知らないうちに周囲の人を感染させている可能性もあるということです。ですから、新型コロナに自分自身が感染しない、周囲の人に感染させないためにマス

クの着用は徹底してください。また、食事の時等、マスクをしない状態は感染のリスクが非常に高まります。マスクをしない状態で会話をすると、相手に飛沫を飛ばしたり、相手からの飛沫を吸い込んだりして大変危険です。感染者が出て、保健所が濃厚接触者を特定する場合、だれとどのような状態で食事を摂ったかという点や、マスクをしないでだれかと会話しなかったかという点がポイントとなるようです。また、皆さんや皆さんの周囲には、新型コロナに感染した場合重篤になりやすい高齢者や基礎疾患を持っている方と同居していて、感染防止に一般の人よりも気をつけなければならない生徒もいます。感染防止に向けて、さらに気を付けて行動してください。お願いします。

それでは、結びとなりますが、今学期も皆さんの頑張りや活躍を期待しています。以上で、話を終わります。